

夏の川遊び体験

～昔ながらの川魚釣りと川の遊び方～

暑い日が続く秋川を利用するレンジャー客が日増しに増えてきている気がします。川でのBBQもいいのですが、地元の子どもたちはいろいろな方法で川を楽しんでいます。今回、あきる野市外の子どもたちが秋川、養沢川で自然体験する機会がありましたので、あきる野ならではの遊びを伝授しました。

まず、あきる野の子どもの多くが経験するあんま釣りです。これは川魚の習性をうまく利用した釣りのような気がします。川底の石などについている川虫をエサにし、下流に向かって針を流します。右の写真にあるように釣竿を完全に水につけ前後させます。その際、足元の石などを転がしたりすると川底の川虫が流されより魚が釣れやすくなります。アブラハヤ、ウグイ、時にはヤマメがかかった

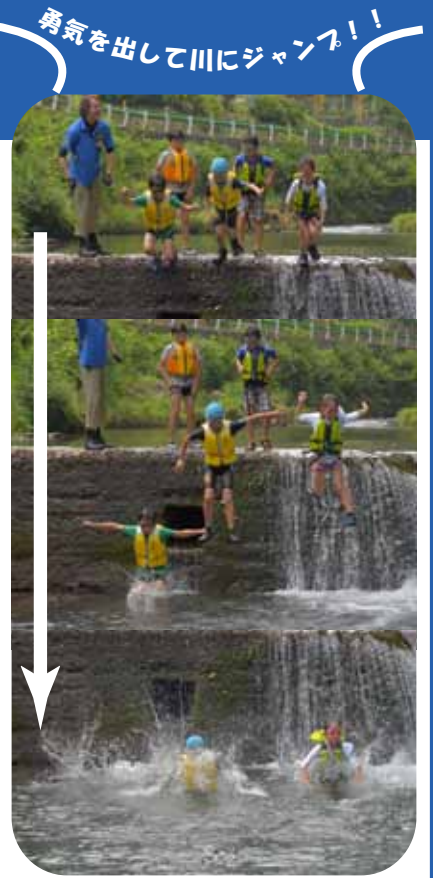
りします。

もう1つの自然体験は川への飛び込みです。高い所から水深のある淵などに飛び込むのですが、川を全身で感じることのできる遊びです。勇気を出して飛んだあとは、みんな病み付きになります。

川は楽しさと危険が隣り合わせです。遊ぶときは大人の人と一緒に遊びましょう。



あんま釣り



ただ今、準備中

「小宮小学校」→「小宮ふるさと自然体験学校」

3月に閉校となった小宮小学校は9月1日より「小宮ふるさと自然体験学校」として生まれ変わります。現在、森林レンジャーの隊長こと杉野と自然体験学校校長の篠木が中心となって展示室の改装、展示物の作成を行っています。閉校直後の学校にはたくさんの備品や道具類が設置されており、自然体験学校の青写真がうまく思い浮かべないほどでした。地道に教室内の備品類を運びだし、棚などを取り外し、ベニヤを打ち付け、だいぶ展示室としての基礎が出来上がってきました。コレンジャーにも展示の一部を手伝ってもらい、たくさんの丸太をノコギリで玉切りにしてもらいました。開校まで後1ヵ月、体験学校開校に向けてラストスパートです。(○清掃後の教室。◎コレンジャー展示を手伝う。壁にあるベニヤのパネルは隊長の自作です。□木材を搬出中。全伐材を展示に利活用します。△これだけの木材がどんな展示になるのでしょうか?)



○登山ルート情報○



大岳沢（大滝）から馬頭刈尾根まで通行止

大岳林道終点から馬頭刈尾根に向かう登山道で、通行止めになっている箇所があります。（7/11に確認）そのため、大岳林道終点から馬頭刈山、大岳山に向かうことができません。以前より橋が朽ちている箇所や道が崩れてしまっている箇所があり、6月の台風後、更に登山道が荒れたような気がしていました。幸い大滝までのルートは封鎖されていないので滝を觀賞することは可能です。



檜原村方面↓



7月のコレンジャーの活動 ～夜の森を歩き、夜の川でホタル観察～



今回のコレンジャーの活動の目玉は夜の森の観察です。そのため、開始時間はいつもと違い、14:00スタートとなりました。夕方になるまでの時間、丸太をみんなで協力して運び、ノコギリで丸太切りを行います。中には1回では飽き足らず何度も丸太切りを行うコレンジャーもいました。玉切りにした材は、表面にもあるように小宮ふるさと自然体験学校の展示の一部となります。コレンジャーに手伝ってもらった展示はどんな風になるのだろうか？完成が楽しみです。

夕方になり日差しが弱くなってから森の観察に向かいました。歩いているうちに徐々に周りが暗くなり、あっという間に前を歩いている人の背中も見えなくなっていました。森の中に設置したセンサーカメラを確認したり、バットデテクターでコウモリの超音波を測定したりと夜行性の哺乳類の行動について学びました。

最後に養沢川沿いでゲンジボタルを観察しました。普段歩くことのない夜の森の中で貴重な体験をすることができました。（写真：①みんなで丸太運び ②隊長の両端で丸太切り ③④暗くなりつつある森の中を散策 ⑤この実は何かな？植物観察 ⑥ホウノキの葉でお面が完成 ⑦センサーカメラに写っていたタヌキ）

